

## ココリんくDX視察会を開催しました 900床のベッドを埋めよ！ 連携業務のDX事例

大阪府最大の『一般病床・精神病床が併存した認知症も診れる総合病院』である藍野病院 地域医療連携センターにて、2日間に分けて業務DXの視察と情報交換を行いました。3病院の事務長や連携室、ベッドコントロールに携わる方々総勢9名が、藍野病院の先進的な取り組みを体験されました。



医療法人 恒昭会  
藍野病院

業務DXする前の課題は、

- ・ 帳票出力に時間がかかる
- ・ 複数ファイルへの入力が必要
- ・ 手書管理業務に時間を要する
- ・ 業務の申し送りに時間を要する
- ・ 個人の業務負担の把握が困難
- ・ 手入力によるリスクの発生 など

各相談員が相談内容をExcelで管理しており、断続的な情報を横断的に活用したかった。

ココリんくと相談記録システムを共同開発し、入力をデータベース化したことで、作業が楽になりました。手書きや手入力の96帳票のうち、63帳票が自動出力され、入院経路等の詳細な分析が出来るようになりました。

「相談内容」とは、まだ電子カルテに患者データが入る前の貴重な情報であり、データ分析することで、稼働UPに向けた院内の本質的な課題を見つけることが出来ます。とても重要なデータ収集であり、それが出来るのは院内でも地域連携に関わるメンバーのみなのです。

日々、相談記録をココリんくに入力するだけで、件数の推移グラフ化や集計が自動化され、大幅な業務DXが実現出来ました。

### Q.月刊こみゆりんくとは？

ココリんく 開発元(株)プレアデスセブンが主催する病院経営改善オンライン講座「こみゆりんく」の内容や、お役立ち情報をまとめた情報誌です。講座の詳細は裏面に記載しています。

## データベース化の成果とは？

### ① 渉外戦略の構築

連携先や地域の声（ニーズ）をデータベース化することで、自院に対して、どの目的で入院依頼をされているのか？詳細な分析が可能となった。

### ② 渉外先との情報共有の確立

渉外先での打合せも、タブレットを使って、紹介された患者の状況など、迅速にお伝え出来る。

### ③ 入院依頼の進捗状況の把握

受入可・不可なのか？キャンセルか、保留中なのか？リアルタイムに追跡が出来る。

### ④ 院内問題点の把握

入院依頼 キャンセル件数等一つ一つの内容を掘り下げ、問題点を浮かび上がらせて共有出来る。

情報交換会・システム体験会では

- ・ 医師毎のデータは、誰がどのように使うのか？
  - ・ 病床稼働率が低下時のベットコントロール担当としての対応策は？
  - ・ このデータを見てどの様に判断するのか？ など
- 熱心な質問に対して、活発な情報交換が行われました。（▼当日の様子）



今月の



pick up User

## 社会医療法人杏嶺会 一宮西病院 様 (愛知県)

### Q.こころんく導入の目的は？

801床を100%近い稼働率で保つべく、刻一刻と変わる院内の状況を、日別でタイムリーに2名体制で管理。手動の集計作業を自動化して、圧倒的にDXしたい。

### Q.こころんくで自動抽出化した指標は？

電子カルテ&レセコンからDWH連携して、下記指標の自動抽出と自動集計を実現しました。

#### ●ベッドコントロール指標

24時在院患者・在院患者・当日入院患者・当日退院患者  
・入院予定・退院予定・退院許可など。

#### ●稼働率指標

日々の各病棟の、在院・入院・退院・利用率・稼働率・空床  
・入院予定・退院予定・延在院数、平均在院日数など。

#### ●外来指標

日々の診療科毎の、月間累計外来患者数や金額。

#### ●救急指標

・当日救急搬送件数・当日救急外来患者件数  
・当月救急搬送件数・救急からの入院率など。



#### 【病院概要】

801床（一般621床、回リハ180床）

診療科：36科目

医師数：243名

#### 【特徴】

24時間365日救急車の受入れを行い  
予防から救急、急性期、回復期まで  
切れ目のない医療を提供。

地域連携推室から発信  
経営改善コミュニティ

こみゅりんく



人口減少、病床機能の変革…

これからの「地域ヘルスケア戦略」を明確にして  
連携先（病院、クリニック、在宅、介護）から  
愛される「地域No1病院」を目指し  
データに基づく戦術を学びます。

現状、看護部主導でのベッドコントロールから  
チームでの活動へと、変化するきっかけとなりました。

#### 参加者の声

他施設や他院から当院に対する要望を聞いたことで、  
改善策の検討を、部署内で話し合うことができました。

日程 第5期 2025年2月3日(月)～

回数 全5回

方法 オンライン



費用 無料

資料と申込は [こちら](#)



経営改善の実践的ノウハウを学ぶ“こみゅりんく”で次の一手を！